

CONTENTS

今号は、広安愛児園が運営する地域小規模児童養護施設「福富ホーム」の完成報告、熊本平成ロータリークラブ創立三十周年のお祝い、こども L.E.C.センターの文化祭の様子と、四月に採用した職員の紹介文を掲載しています。



会員の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。
さて、さる六月十五日、当会恒例の後援会総会を実施しました。例年のとおり、西田副会長司会により会を進行し、総会議長には同じく副会長の烏田氏が選任され議事は進行しました。平成三十年事業報告、会計決算報告、監事監査報告、令和元年度事業報告、収支予算案、全て滞りなく承認をいただくことができましたので、こ

こにご報告させていただきます。なお、平成三十年度の決算は収入1,752,216円、支出1,356,769円でしたので、395,447円を令和元年度へと繰り越していますので併せてご報告いたします。
今年の梅雨入りは六月二十六日と過去を振り返っても一番遅い梅雨入りとなりました。しかし、いざ梅雨入りすると連日の雨。何よりこの原稿を書いている七月三日は益城町に避難勧告まで出る状況で、熊本を襲った数年前の九州北部豪雨が思い出されます。その後も広島、福岡等々で毎年のように豪雨被害が出ていることを思うと、今年もまたどこかでと心配せずにはいられません。どうか何事もなく梅雨が明け、平穏な日々が来ることを祈っています。

挨拶

後援会会長

西口 俊一

福富ホームの写真



会員の皆様方も、両施設の子どもたちと職員の皆様も、今後の雨の降り方には十分注意し、必要な場合には早め早めの避難等に心がけて下さい。全ての皆様方の安全と安心を心から願っております。

祝 熊平啓一ターニクス様創立三十周年

広安愛児園
園長 三嶋充裕

りしまして改めて感謝申し上げます。
そして、さる六月八日、熊本ニ

この度、平成ロータリークラブ様が創立三十周年を迎えられました。心よりお慶びを申し上げます。熊本平成ロータリークラブ様とたつき、出席させていただきました。あのような盛大なパーティーのお付き合いと申しますか、ご支援をいただきようになつたのは平成二十七年からでした。当時クラブの方が三名ほど来園いただき、何かご支援をしたいとの申し出がありました。当園の敷地は一万九千坪の広大な敷地です。園内の草刈りのボランティアをお願いしましたところ、ご快諾頂き、その年より草刈り奉仕と併せて子どもたちと一緒にパークキューをご利用いただき、子どもたちがこのパークキューを心待ちにしているのはいうまでもありません。また、三年前にはその草刈りをするための刈払機を二十台もご寄贈頂きました。幾重にもご支援頂いておりますことをこの場をお借りして感謝申し上げます。



こどもL.E.C.センター文化祭

こどもL.E.C.センター
心理療法士 作田郁美

六月一日L.E.C.センターでは文化祭が行われました。例年、子どもたちは歌ったり踊ったりするステージ発表や自分の絵や工作の展示をし、「園内発表会」として開催されてきました。今年も、ステージ発表や展示だけでなく、クッキーやパウンドケーキ、ジュースを用意したり、的あてやクイズラリーなどを行い、これまでと違った催しになりました。これは、人前に出たりすることは苦手な子にとっては発表を見るだけになってしまっていました。「してみたいけど恥ずかしい」と思っていた子も多かったかもしれません。今回、前日からクッキーやパウンドケーキ作りに参加した子どもたちには、いつもは積極的に発表をしない子どもたちも中心の文化祭から、みんなが一緒に楽しむことができました。発表の準備や当日の発表、発表後の感想など、子どもたちは一生懸命に取り組んでくれました。また、発表の準備や当日の発表、発表後の感想など、子どもたちは一生懸命に取り組んでくれました。また、発表の準備や当日の発表、発表後の感想など、子どもたちは一生懸命に取り組んでくれました。



広安愛児園 保育士 宮本亜美

平成十年十月二十六日生まれのB型で、好きな動物は犬です！小さい頃からの夢だった保育士になることができました。子どもたちのことを一番に理解し、いつでも頼られる存在になりたいと思います。



こどもL.E.C.センター
調理員 山田喜代治

四月より皆さんの仲間入りをさせて頂きました。食への安心・安全をモットーに「温かい飯は元気の源」と考えています。誰もが受け入れられ、心地よい食堂にしていこうと思います。日々共有できる時間の中で、「いただきます」「ごちそうさま」の声と笑顔調理に努力します。



こどもL.E.C.センター
保育士 樋口真子

四月からこどもL.E.C.センターで働かせていただくことになりました。昨年実習でお世話になり、また自分では一杯頑張りたいと思いたく、すのよよろしくお願いたします。



広安愛児園
保育士 澤部麗美

昨年の八月から愛児園の園内保育所で勤務しています。幼児さん達のパワーに圧倒されながら毎日楽しく過ごしています。幼児さん達に一杯の愛情を注いで行きたいと思っています。何卒よろしくお願いたします。



尚絅短期大学から来ました。好きな食べ物はブドウです。これから子どもたちだけでなく、職員の皆様にも信頼していただける保育士を目指します。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



広安愛児園 保育士 後藤清子

七月一日付けで保育士として採用していただきました。二十二年と二十才の二人の息子が巣立ち、フルタイムで仕事ができる環境になったのを機に、愛児園でお手伝いさせていただければとお願いました。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。



よろしく令和元年 お願いたします

この四月からお世話になっていきます。毎日新しいこと分らないことの連続で、あつという間に三ヶ月が過ぎました。体を動かすことが好きなので、子どもたちと一緒に明るく楽しく過ごしたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



広安愛児園

児童指導員 竹田翔太

広安愛児園

里親支援専門相談員 吉田勝

四月からお世話になっていきます。笑顔と元気を大切に頑張っています。まだまだ慣れないことも多いですが、少しずつできることを増やしていきたいと思います。宜しくお願いいたします。



昭和五十五年十月二十九日生まれ三十八才になります。子どもたちからはプーさんという愛称ももらっています。里親さんの支援を頑張っています。分らないことも多々ありますが、宜しくお願いいたします。



編集 後記

梅雨に入り連日雨が降り続いていますが、梅雨の時期は本当にジメジメとうっとうしいのですが、農家の方にしてみれば降るときには降ってくれないと、田植えすらできない状況になつてしまっています。今年の梅雨はとにかく降り方が激しすぎるので、適度な雨量とともに、災害なく梅雨の時期が終わってくればと思います。いよいよ、後二週間あまりで子どもたちが待ちに待った夏休みに入ります。対応する職員は大変ですが、子どもたちにとって楽しい夏休みになればと思います。



新しい「福富ホーム」が完成しました!

広安愛児園

福富主任 溜淵可奈

熊本地震から三年。この度、新・福富ホームが遂に完成いたしました。多くの方のお力をお借りし、大豪邸が建ちました。首を長くして待った新居に大喜びの子どもたち。そして子どもたち以上に喜ぶ職員。感謝の気持ちでいっぱい

いす。たくさんの希望を抱き、四月より新・福富ホームのスタートをきりました。福富地区に新居を構えて引越すことは、楽しみでもあり、実は少し不安もありました。地震の翌日に見た福富地区は、あまりにも景色が変わり果てており、住む家を失った方も多くいらっしやいました。私たち福富ホームも例外ではありません

でした。地震までのたった二年間しか住んでいない旧・福富ホームですが、わが家を失うことは、今までの思いも消えていくような状況や思いが渦巻く中、福富地区に引越す方、地域の受け入れも少しかし、その心配を和らげてくれたのは、旧・福富ホームの時にあったお隣さんでした。

ご自身は、住まいも解体を余儀なくされ別の地区に越されました。福富ホームの新居建設が決まったことをお隣さんに伝えると、笑顔で「良かったじゃない」と仰ってくださいました。ご自身の状況を考えると簡単な言葉ではないと思いましたが、その言葉を信じ、新生活をスタートすることができました。三か月が経ち、生活の様子はとて変わりました。子どもたちは近所の友達と遊んだり、地域のお店で買い物したりするなど、のびのびと過ごしています。地域を探検して回

【個人】

- 宮本裕美 西浦松子 大坪麻衣子
- 前田華子 橋本幸男 中村圭吾
- 山下勝也 酒井義明 村上續・善子
- 南 節子 國津英愛 東山 勉
- 松村軍城 濱竹秀子 米満幸成
- 赤塚麻利 本田公美 平岡郁子
- 鈴木孝義 藤井雅俊 久佐賀真理
- 井上創造 浜田哲嘉 濱田伶子
- 井上健一 永田宏昭 濱本 唯
- 小尾省三 中村隆二 平上榮一
- 柳原靖之 布田 昭 前川千嘉子
- 鳥田知明 吉田水哉 福永佐代子
- 藤江京子 松村福蔵 木下美代子
- 西口俊一 西島義子 角田耕治
- 濱田将平 三池絵美 西村岳人

伊藤昌美 三嶋充裕

(順不同敬称略)

【団体・企業】

- ビッグプラネット
- 定永耳鼻咽喉科 愛光幼児園
- ミノル電機 小竹組 熊本交通
- 豊国畜産 戸山・横田医院
- 西田電工 神水幼稚園 東光石油
- 丸山防災 熊本ラケットクラブ
- 水森自動車

(順不同敬称略)

◇振り込み用紙を同封させていただきました。決して催促ではありません。ご都合の良いときにご協力下さい。

ご支援に感謝です

平成30年12月18日～令和元年7月10日分までを掲載しております。

り、新たな発見に目を輝かせて話をしてくれました。また、ご近所の方から野菜をいただいたりと支えられて生活を送っています。地域の『人』『もの』『こと』をとおして、子どもたちの地域に対する愛着の形成を目指して、子どもたちの地域に対する一つの思いを言えます。自分の住む地域に対するプラスの思いをより多く持ち、子どもが成長し過去を振り返った際に過去を肯定できるよう、またその思いが生きる力と繋がるように、生活を大切にしていきたくと考えています。

ちなみに、地震の際に踏ん張って倒壊から逃れ、子どもたちを守ってくれた旧・福富ホームは、新居で写真という形で子供たちの成長を見守り続けてくれていきます。

